太田前グループCEOが築いた基盤をもとにさらなる成長を追求

2019年4月の就任以来、SMBCグループを率いてきた太田前CEOは2023年11月に逝去しました。先見性、幅広い知見をもってSMBCグループをリードし、また、「カラを、破ろう。」のスローガンの下、従業員一人ひとりが自由な発想でチャレンジし、力を最大限発揮できるような環境を整え、変革のカルチャーを組織に浸透させました。
2023年度からの中期経営計画「Plan for Fulfilled Growth」では、社会的価値の創造を経営の柱に据え、経済の成長とともに、社会課題が解決に向かい、そこに生きる人々が幸福を感じられる「幸せな成長」に貢献していくことを打ち出しました。
SMBCグループは、太田前CEOが築いた基盤を土台に、これからもチャレンジ精神をもって、「Plan for Fulfilled Growth」の実現を追求し、より一層力強く成長を目指していきます。

1982年　住友銀行入行
2009年　三井住友銀行 執行役員
2012年　同 常務執行役員
2013年　当社 常務執行役員
2014年　同 専務執行役員 三井住友銀行 専務執行役員 当社 取締役
2015年　三井住友銀行 取締役兼専務執行役員
2017年　当社 取締役兼副社長執行役員
　　三井住友銀行 取締役辞任
　　当社 取締役 執行役副社長
2018年　三井住友銀行 取締役兼副頭取執行役員
2019年　当社 取締役 執行役社長
　　三井住友銀行 取締役辞任

2019年4月にグループCEOに就任し、「カラを、破ろう。」のスローガンの下、従来の延長線上にはない自由な発想で、時代の変化に応じた変革を促しました。

「社長製造業」では、従業員が前例や固定観念に囚われず、新たなビジネスに挑戦することを後押ししました。

社内SNSやドレスコードフリー等、従業員一人ひとりが思う存分能力を発揮し、やりがいを感じながら働くことができる環境づくりを進めました。

2020年度に、2030年に向けたグループの新たなビジョン「最高の信頼を通じて、お客さま·社会とともに発展するグローバルソリューションプロバイダー」を掲げ、成長を追求してきました。

マルチフランチャイズ戦略では、インド·インドネシア·ベトナム·フィリピンの金融機関へ出資し、各国の成長を取り込むためのプラットフォームを築きました。

2023年2月に個人のお客さま向け総合金融サービス「Olive」を発表しました。

米国では、Jefferiesと2021年7月に資本業務提携、2023年4月には追加出資および提携強化を公表し、連携を拡大しています。

2023年4月に、中期経営計画「Plan for Fulfilled Growth」がスタートしました。社会的価値の創造を経営の柱に据え、「幸せな成長」への貢献を目指すことを打ち出しました。
この方向性を発展的に受け継いで、引き続き中長期的な視点で社会課題の解決に取り組み、持続可能な成長を実現することによりステークホルダーからの成長期待を高め、企業価値の向上を追求していきます。

富良野自然塾　倉本聰氏との対談の様子